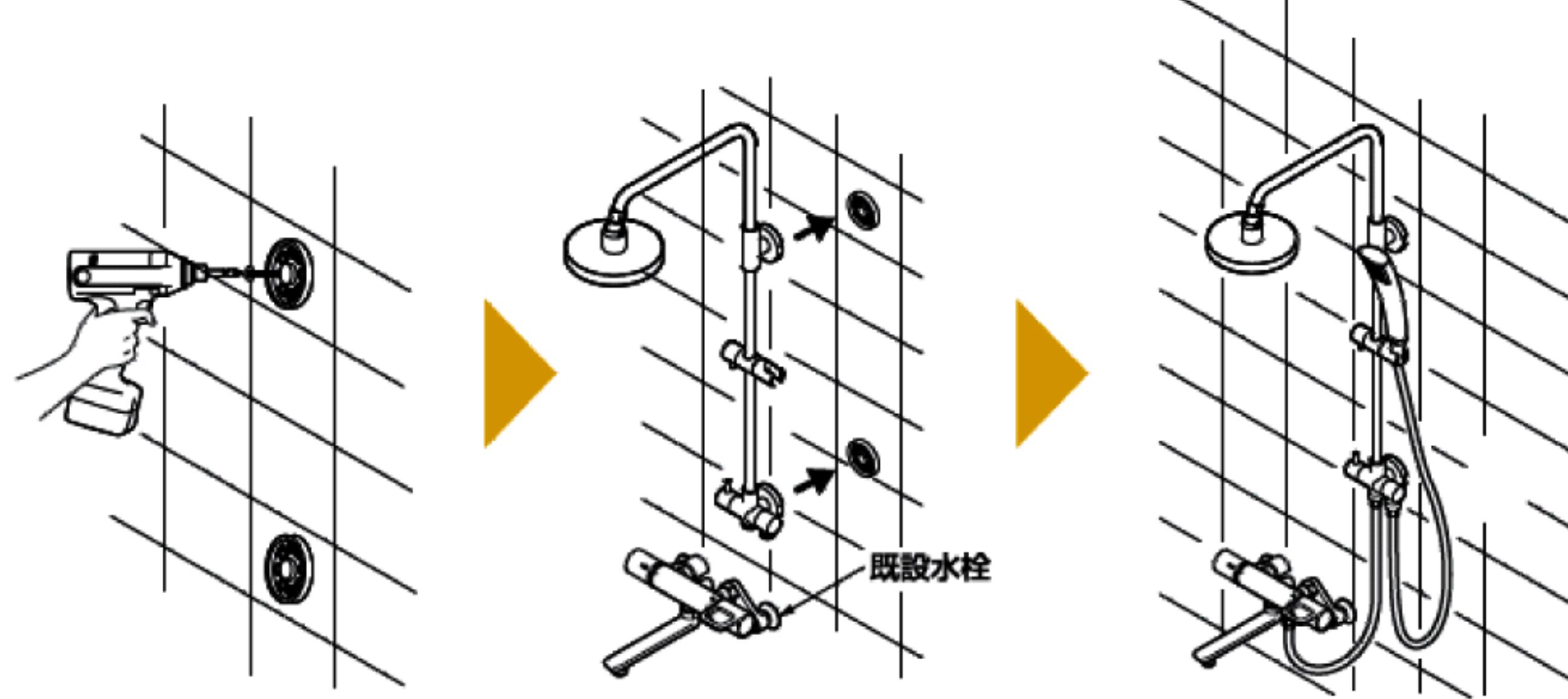


シャワーバー(Hi-Gシリーズ)

2011年2月発売

施工前の注意ポイント編



2011.6.1

制作:TOTO

目 次

- 1. 浴室壁材の確認**
- 2. ユニットバス・システムバスへの取付可否**
- 3. 取付範囲の注意点**
 - ・照明器具、障害物など
 - ・ユニット継ぎ目、壁面からの距離
 - ・消防法による浴室乾燥機との取り合い
- 4. 取付推奨範囲**
- 5. 取付推奨高さ**
- 6. 最低必要水圧の確認方法**
- 7. 位置決めシート(事前確認用)のご紹介**

1. 浴室壁材の確認

簡易的な見分け方

- ①天井の点検口の有無。
- ②ドア下回り、排水回りの一体化の有無。



有:ユニットバス
無:在来



ただし、上記がすべてではありません。

現場により異なることもありますので、工事業者さまにご確認ください。

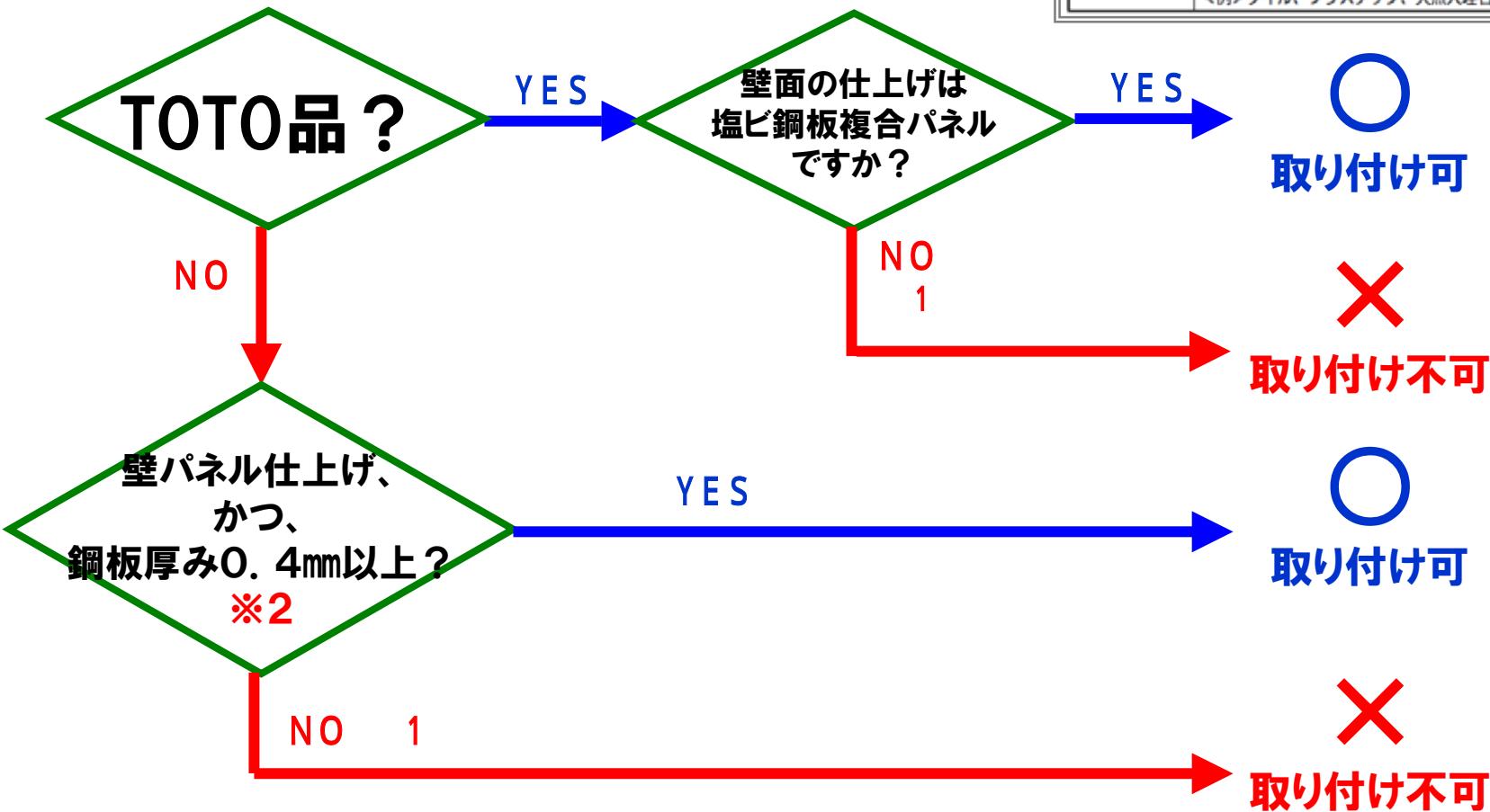
必ず強度のある壁・建築構造体に
取り付けのこと

2. ユニットバス・システムバスへの取付可否

可否判断フロー

浴室壁材	取り付け可否
在来浴室	○
木下地	○
コンクリート下地	○
ユニットバス および システムバス	○
0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、QCパネルなど	○
その他 <例>タイル、プラスチック、天然大理石等	○

説明書表記

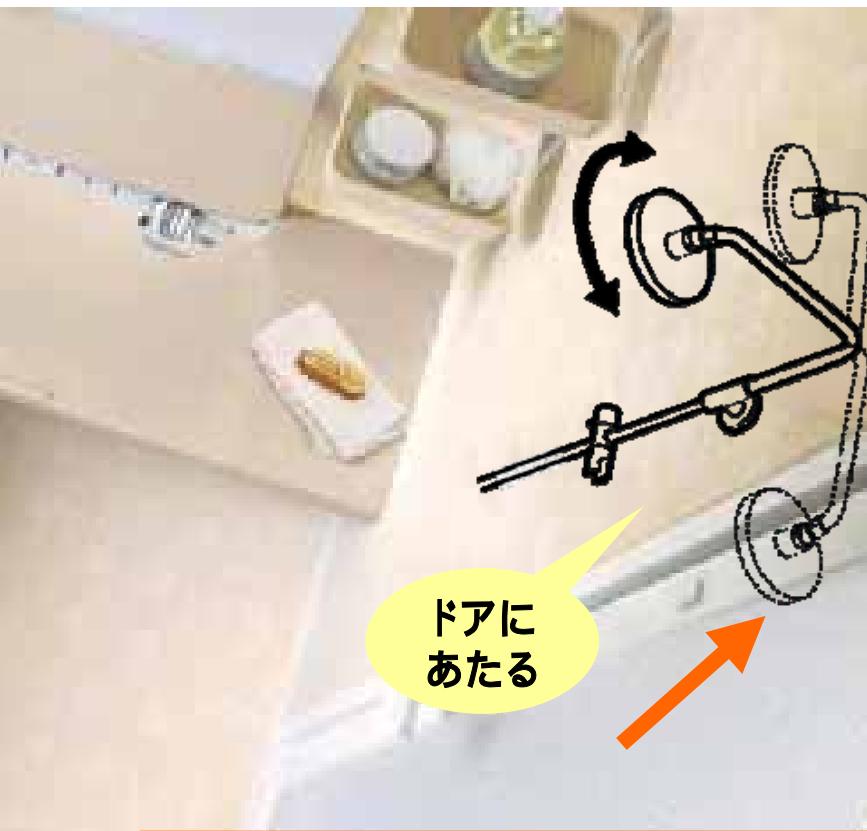


※1 壁面仕上げが、タイル・プラスチック・天然大理石等の場合は取り付け不可です。

※2 壁の材質については、ユニットバス・システムバスメーカーにお問い合わせください。

3. 取付範囲の注意点

- ・照明器具、障害物など



オーバーヘッドシャワーの可動範囲は360度。
照明器具や鏡への接触による破損防止のため、
施工前には可動範囲をご確認の上お取り付けください。

3. 取付範囲の注意点

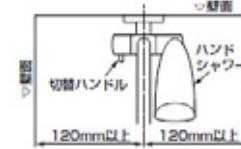
・ユニット継ぎ目、壁面からの距離



<注意>
ユニットバス壁パネルの継
ぎ目が横の場合も同様に
120mm以上離すこと



●取付芯の位置は浴室コーナー部から120mm以上離してください。
切替ハンドルやハンドシャワーの使い勝手が悪くなることがあります。



ユニットバス・システムバスの場合、
壁パネルのつなぎ目からも120mm以上離してください。



説明書表記

3. 取付範囲の注意点

- ・消防法による浴室乾燥機との取り合い

消防庁文書の
文面追加



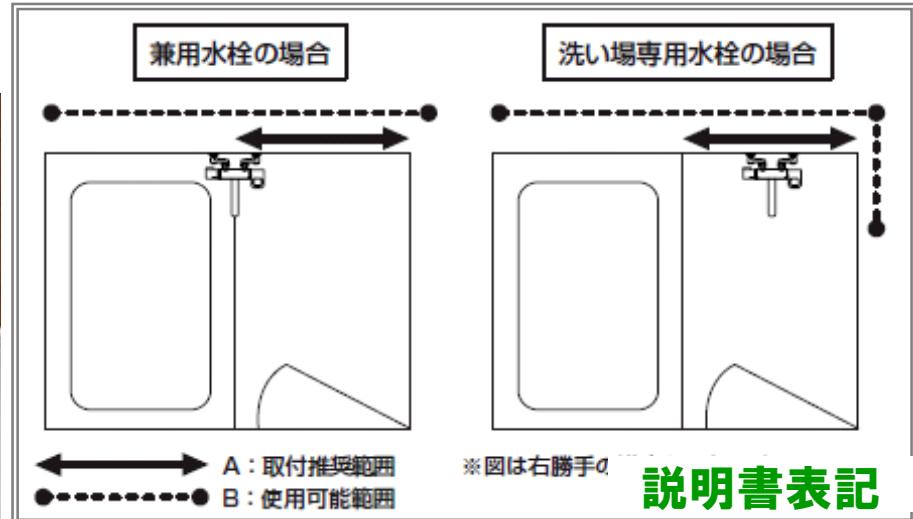
浴室衣類乾燥機が設置してある場合

消防法第九条に基づく市町村条例基準により、浴室用衣類乾燥機が設置してある場所へのシャワーバー取り付けは、防災上の規制に注意してください。

(例) 東京消防庁設置基準

「温風吹出口および空気吸込口の100mm以内に衣類を含め、一切のしゃへい物がないこと」

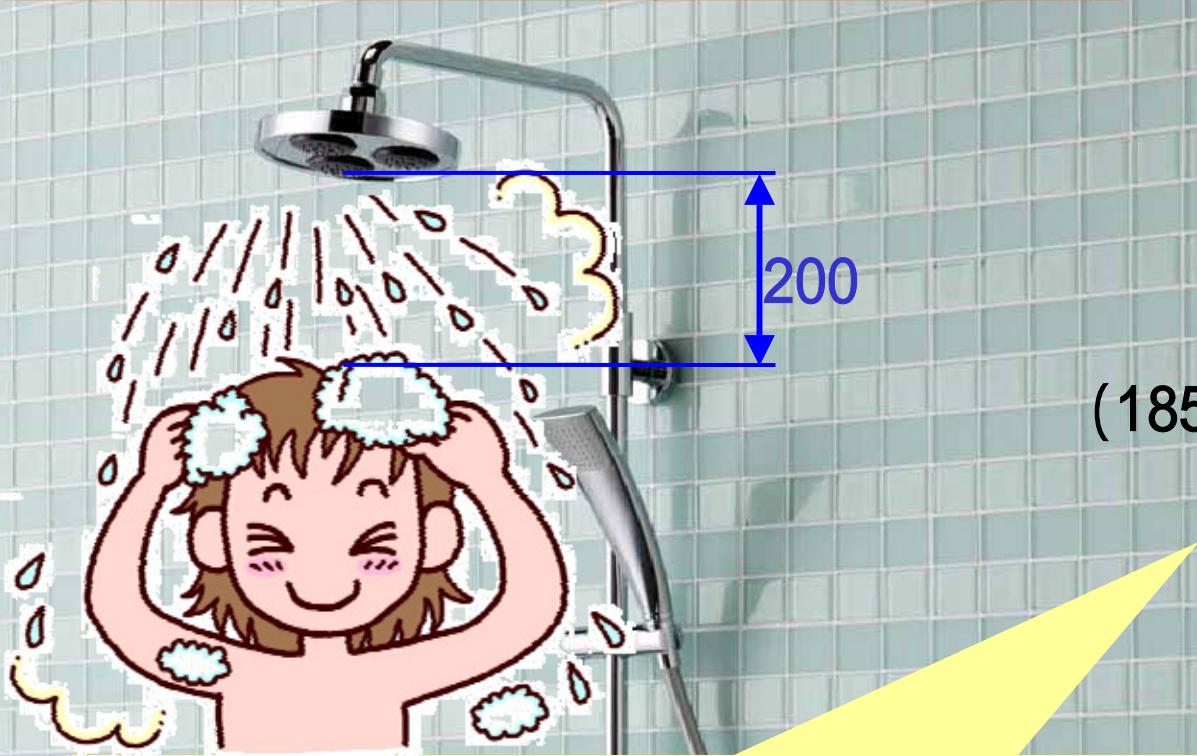
4. 取付推奨範囲



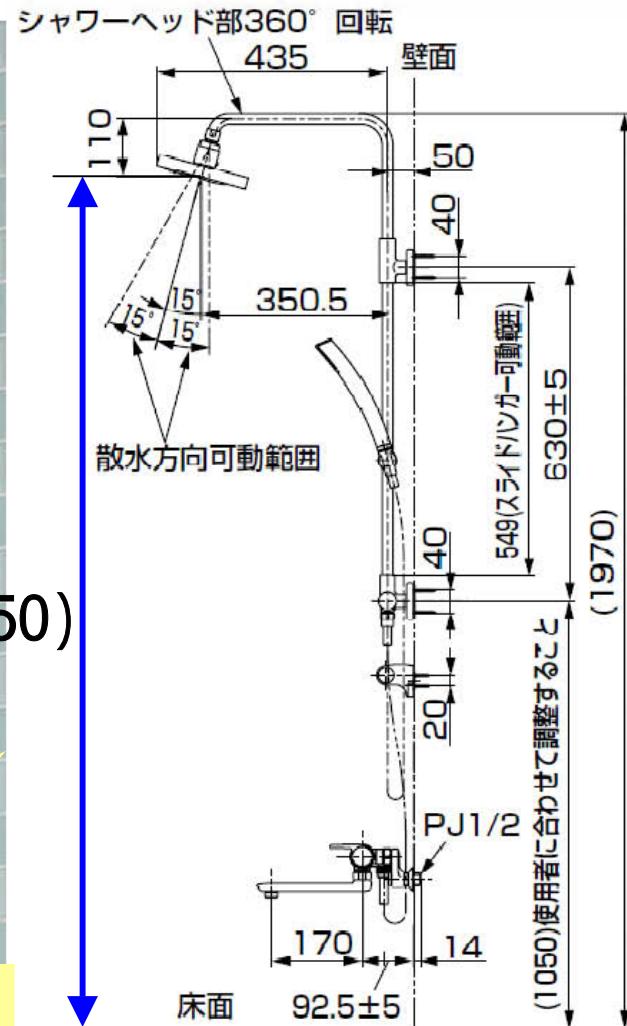
取付推奨位置は、水栓金具設置箇所の近く
側面の壁に設置する場合は接続ホースの長さ調整を
十分ご検討の上引っ掛かりなどないようにご注意ください。

5. 取付推奨高さ

**使用者の身長に対し、散水板の位置を
200mm程度の高さに設定することを
お勧めします。**



**設置する浴室の天井高さや複数の使用者がいる場合は、
使用者間の身長差等も考慮した上で、お客様とご相談の上
設定をお願いします。**



天井高さ:2,000mmの場合

6. 最低必要水圧の確認方法



容量は、洗面器裏に記載されています。

最低必要水圧は、0.1 MPa。

<水圧の条件の目安>

水栓金具の吐水側の流量が、14L/分程度必要です。

例) 容量3Lの洗面器の場合、約13秒で満杯になる流量です。

容量4Lの　　〃　　、約17秒で　　〃　　。

7. 位置決めシート(事前確認用)のご紹介

取付範囲の確認に便利な、

確認シート(实物大のイラスト)を

ご用意しております。

カタログNo.3025

ぜひ、ご活用ください。

